

教科 社会(地理的分野) 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の諸地域	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。</li> <li>・①から⑤までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。</li> <li>・次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</li> <li>・日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>・①から⑤までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
地域の在り方	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。</li> <li>・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること。</li> <li>・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。</li> <li>・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>

教科 社会(歴史的分野) 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近世の日本	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解すること。</li> <li>・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。</li> <li>・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。</li> <li>・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。</li> <li>・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)からエまでについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</li> <li>・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</li> <li>・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</li> <li>・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</li> <li>・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(イ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

教科 社会(歴史的分野) 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近代の日本	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解すること。</li> <li>・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。</li> <li>・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解すること。</li> <li>・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解すること。</li> <li>・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協定の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解すること。</li> <li>・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解すること。</li> <li>・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> <li>・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> <li>・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</li> <li>・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。</li> <li>・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協定の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。</li> <li>・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>